

行政視察等報告書

平成28年 4月13日

境港市議会
議長 岡空 研二 様

会派名 きょうどう
代表者 米村 一三



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	平成28年4月7日（木）～平成28年4月8日（金）
2 視察等先 及び内容	平成28年4月8日（金） 10:00～12:30 名古屋ダイヤビルディング2号館 講座：「役所を動かす議員活動」 講師：宮本正一氏 （医療・健康問題研究所代表・元寝屋川市議会議員）
3 視察等議員	浜田 佳尚
4 総経費	合計（1名） 58,772円 （一人当たり58,772円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所見等	別紙のとおり

内 容： 市役所を動かす議員活動「効果的な一般質問作成ノウハウver 6」他

報告者： 浜田 佳尚

所見等： ヘッドラインピックとして講師の宮本氏のNBA論文「有権者が満足する議員活動」をテーマに、2つの議員活動(政治活動と選挙活動の)について講義がなされた。選挙活動に比べ政治活動は工夫次第で幅広い活動が可能であり、研究の余地があると考えられる。

宮本氏いわく、議員活動とはサービス(形の無い商品)が9割であるが、顧客(有権者・支援者)の満足とは『期待<サービス、期待=サービス』といった単純な数式では測れないとのこと。マイアミ大学パラスーラマン教授の開発した「サービスチェックシート」では顧客の満足とは5分野22項目に分類される。

本題の「一般質問作成」について、準備の方法として最も重要なのが優先順位づけとのこと。優先順位とは①選挙出馬前の公約②選挙出馬前の確認③調査結果の集大成である。自分自身、優先順位をつけるという観点は抜けており、市民の方から受けた声やその時の市の課題を優先的に質問していたように思う。自分自身の基本方針が何であるかを再確認し質問にのぞみたい。またテーマの探索について最も重要とされるのが、自分のプロフィールを活かすことだという。この事に関しても抜けていた点であり、今後配慮していきたい。

講師の経歴を活かした博士論文的原稿の作り方についての講義では、論文の『背景→仮説→検証→結論』というフレームが質問の『背景→幹の設定→項目抽出→質問』というフレームに似ている点に触れ、独自のフォーマットを紹介された。今まで自身が行っていた質問の作成方法と大きな差異はないものの、誰に教わるでもなく手探りでしていたことについて根拠をしめされたことは1つの収穫といえる。